

校長室の窓から

中野区立塔山小学校 校長 狩野 裕之

先週金曜日に行われた6年生を送る会は、とても素晴らしい会でした。各学年からの工夫をこらした贈り物は、気持ちが一つになって、6年生の卒業を祝う気持ち、感謝する気持ちが十分に伝わりました。司会進行やはじめの言葉、終わりの言葉を担当してくれた4・5年生の代表委員の皆さんも大変立派でした。さらに5年生の皆さんが、先生方と会場の後片付けと楽器運びもしっかりやってくれました。

6年生の皆さんは、安心して来年の5・6年生に任せられると思ったことでしょう。

昨日から3月になりました。3月は「弥生」とも言います。「草木が生い茂る」という意味です。私の大好きな野鳥たちも巣作り、子育てを始めています。自然の中では少しずつ春に向かっていきます。

この時季を表す言葉に「三寒四温」という言葉があります。寒い日と暖かい日が、交互にやってきてだんだん春らしくなっていくという意味です。先週から暖かい日が続いていますが、今週はまた寒くなるそうです。

そして今週の木曜日5日は二十四節気の「啓蟄」です。これは、冬に姿を隠していた虫たちが、外に出始める時季という意味です。塔山小学校の周りでも、春を感じる事が多くなりました。正門の近くの沈丁花の花が咲いて香りが広がっています。桜の木の花芽は、だいぶ膨らんできました。今月中に咲き始めるでしょう。皆さんも校庭や登下校で通る道、家の近くで身近な春を見付けてみましょう。また、『立春』、『雨水』、『弥生』というような春を表すいろいろな言葉を探して春を感じるのもよいですね。

最後に、このボールを紹介します。体育館で使うバスケットボールです。塔山小学校開校100周年を祝う会の皆さんから贈られました。軽くて柔らかいので、皆さんが楽しく痛い思いをしないでバスケットボールができます。大切に使用させていただきます。



まさに三寒四温という言葉がぴったりの時季になりました。あれほど、猛威を振るったインフルエンザもどうやら峠を越えたでしょうか。一安心しております。今年度の登校日も20日を切りました。

そんな中での6年生を送る会は、4、5年生の代表委員の児童が企画や進行役を務めます。次のなかよし班活動は、5年生が、リーダーを担います。児童の中でも、少しずつ令和8年度の支度が始まっています。ちょっと緊張しながらの初々しさのある4、5年生、それを温かく見つめる6年生。私たち教職員は、年度末に展開されるこうした光景を微笑ましく見守りながら、今年度の仕上げと令和8年度の準備を進めています。